

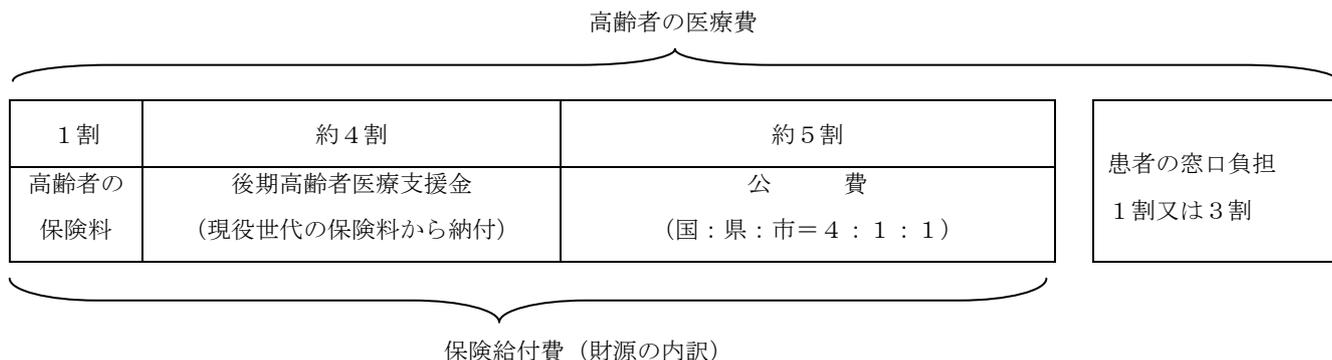
### 3 後期高齢者医療特別会計

(1) 事業の概要

後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を対象とし、高齢化が急速に進む中、現役世代と高齢者世代の費用負担の不公平をなくし、世代間を通じた負担が明確で公平な国民全体で高齢者の医療を支える制度として創設された。

運営主体は、広島県後期高齢者医療広域連合であり、市は広域連合と事務を分担しながら、各種届出の受付事務や保険料の徴収事務を担う。

医療給付に充てられる財源は、公費、現役世代が負担する後期高齢者医療支援金、被保険者からの保険料が柱になる。



(2) 被保険者の概要

被保険者の現況

(年度末現在) (単位：人)

区 分	65歳以上75歳未満 ※	75歳以上	計	(再掲)一般	
				[患者の窓口負担1割]	[患者の窓口負担3割]
29年度	595	15,977	16,572	15,419	1,153

※一定程度障がいのある人で、申請により広域連合が認定した人

(3) 後期高齢者医療保険料の収入状況

(単位：円、%)

年度	区 分	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	還付未済額	収納率
29	現年度分 特別徴収	773,983,680	775,124,338	0	0	1,140,658	100.1
	現年度分 普通徴収	462,412,601	458,690,222	0	4,351,999	629,620	99.2
	滞納繰越分	6,100,204	2,665,441	465,521	2,972,642	3,400	43.7
	計	1,242,496,485	1,236,480,001	465,521	7,324,641	1,773,678	99.5

・収納率は、収入済額を調定額で除して算定（還付未済額は考慮していない。）

(4) 後期高齢者医療保険料の不納欠損数及び不納欠損額内訳表

(単位：人、円)

区 分	執行停止3年継続		即時消滅		消滅時効		合 計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
平成28年度	0	0	0	0	26	495,876 (275,095)	26	495,876 (275,095)
平成29年度	1	3,052	0	0	28	462,469 (423,137)	28	465,521 (423,137)
増 減	1	3,052	0	0	2	△33,407 (148,042)	2	△30,355 (148,042)

・（ ）内は、執行停止中の時効

・不納欠損数合計が事由別不納欠損数の和と合致しないのは、同一人について2つの事由で不納欠損した者がいるため。